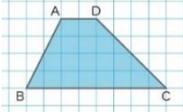


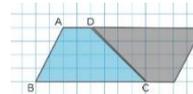
本時のねらい	台形の面積の求め方について、図形を分割、補充、等積変形、倍積変形などの多様な方法で求めたり、ロイロノートを活用しながらグループで考えを交流したりする活動を通して、既習の面積の求め方を基に表現することができる。
評価規準	台形の面積の求め方について、既習の面積の求め方を基に表現している。
具体的な児童の姿	「台形でも他の形に変えることで面積を求めることができる。」「自分は三角形を2つに分けるやり方がやりやすかった。」「同じ台形を2つ組み合わせて平行四辺形を作る方法はすごいと思った。」

時間	児童の活動	指導○及び留意点・ ◎評価〈方法〉 ※支援を要する児童への手立て	準備物
3分	1. 問題場面を把握し、めあてと課題を立てる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">【めあて】面積の求め方を考え、自分の考えを深めよう。</div> <p>○問題を提示し、本時のめあてと課題を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台形であることを確認し、既習の図形の求め方が使えないことを確認し、課題を設定する。 <div style="text-align: right;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【問題】次の台形の面積を求めましょう。</div>	ロイロノート 問題の図
2分	2. 問題に対する見通しを立てる。	<p>○どのような見通しで解決しようと考えているか、数名の児童に尋ね、見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈予想される児童の考え〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形に分けられそう。 ・切って分けてみたい。 ・長方形にもできる。 </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【課題】今まで習った面積の求め方を使うと、台形の面積はどのように求められるだろうか。</div>	
10分	3. 課題に対する自分の考えをもつ。	<p>○課題に対する自分の考えについて立場を明確にし、図を活用して面積を求めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのテキスト機能かノートに手書きで考えを書かせ、提出箱に提出させる。 ・できるだけ複数の考えや式を書くように促す。 <p>※考えを持ってない児童やまとめ方に苦労している児童は他の人の席を回って参考にしてもよいことを伝える。</p>	ロイロノート
5分	4. 課題に対する考えを出し合う。	<p>○どのような考えになったか、数名の児童に方法と図を発表させ、自分の考えがどの考えと同じか、グループ分けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートのテキスト機能を活用して同じ考え同士で背景を色分けさせ、再提出させる。 ・自分の考えをもつことができなかつた児童や、途中までしか分らなかった児童はテキストの背景を白にして提出してもよいことを指示する。 	

〈予想される児童の考え〉

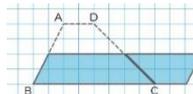
(ア) 倍にして平行四辺形にする

$$(8+2) \times 4 \div 2 = 20 \text{ (cm}^2\text{)}$$



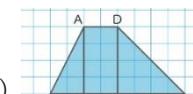
(イ) 半分に分けて平行四辺形にする

$$(8+2) \times (4 \div 2) = 20 \text{ (cm}^2\text{)}$$



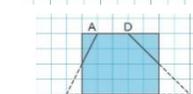
(ウ) 三角形2つと長方形に分ける

$$(2 \times 4 \div 2) + (2 \times 4) + (4 \times 4 \div 2) = 20 \text{ (cm}^2\text{)}$$



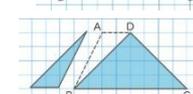
(エ) 部分的に切り取り、長方形にする

$$5 \times 4 = 20 \text{ (cm}^2\text{)}$$



(オ) 三角形2つに分ける

$$(2 \times 4 \div 2) + (8 \times 4 \div 2) = 20 \text{ (cm}^2\text{)}$$



15分

5. 課題に対する考えを交流する。

- それぞれの図がどのような式になるかをグループで話し合う。
- ・考えを書くことができた児童は他の考えを理解するために話し合うことを確認する。
- ・自分の考えをもてなかった児童はどれか一つの考えを理解するために話し合うことを確認する。
- ・自分の考えをもてなかった児童から話し合うように指示する。
- ※考えを持ってない児童やまとめ方に苦労している児童が話し合いを通して理解することができたかを机間指導を行いながら確認する。

5分

6. 図と関連付けながら、式を確認する。

- 数名の児童に尋ね、どのような式になったかを確認し、本時の学習をまとめる。
- ・それぞれの立場ごとに発言を板書に整理していく。
- ・理解が深まったかを確認するために、初めの自分の考え以外の考え方を説明させる
- ※ 考えを持ってない児童やまとめ方に苦労している児童を指名し、理解できたかどうか確かめる。
- ◎台形の面積の求め方について、求積可能な図形の面積の求め方をもとに多面的に考え表現している。〈発言分析・記述分析〉

【まとめ】台形の面積も切ったり足したり変形したりして、求められる形にすることで、面積を求めることができる。

5分

7. 本時の学習を振り返る。

- 本時の学習の振り返りをする。
- ・本時の学習で考えを深めることができたか、様々な考えを理解することができたかという視点で振り返りを書かせる。
- ・振り返りを交流する。